

# 「巨人」の場

トポス

古今東西、様々な文化、文学、宗教伝統の中に、多彩な「巨人」伝承が存在する。本シンポジウムでは、一神教伝統における「巨人」を碑文、写本テキスト、美術表象他を通して多角的に分析し、その役割や地理的場所も含めた立ち位置を「巨人」の「場(トポス)」として検証する。

■高井啓介(関東学院大学)  
「rp'umからレファムへ—ヘブライ語聖書の「巨人」表象とそのイメージはどのようにして成立したのか」

■勝又悦子(同志社大学)  
「内なる巨人としての『ゴーレム』—ミドラシュからカバラへ」

■大沼由布(同志社大学)  
「異形のカタログ—西洋中世の百科事典的著作における巨人の記述」

■林則仁(龍谷大学)  
「巨人のイメージ—イスラーム写本絵画にみる巨大な身体を持つ図像」

■山中由里子(国立民族学博物館)  
「巨人の名残り—遺物をめぐる中世イスラーム世界の驚異譚と巨人」

■岡本広毅(立命館大学)  
「中世ブリテン建国史における巨人族とストーンヘンジ建立—マーリン、記念碑、コロニアルな歴史」

■コメンテーター黒川正剛(太成学院大学)  
「西洋中・近世における巨人表象とイメージ—聖人・野人・パタゴニア人」

【図1】巨人ウージュを倒すモーセ(中央上) (Khalili Collections / CC-BY-SA 3.0 IGO)

【図2】マーリンとストーンヘンジ建立の様子 (British Library, Public Domain)

【図3】Rabi Loew and Golem, 1899 (Mikoláš Aleš (1852–1913))

【図1】

【図3】

日時: 2021年11月6日(土)14:00-17:15

オンライン開催・参加無料

<途中休憩あり>

【事前申込要】締切: 2021年10月31日(日)

この講演会はzoomを利用しオンラインにて開催いたします。ご参加をご希望の方は右記QRコード「参加申込みフォーム」からお申込みください。

<https://www.doshisha.ac.jp/event/2021/1001/event-detail-4423.html>



主催・問合せ先: 同志社大学一神教学際研究センター TEL : 075-251-3972 E-mail : rc-issin@mail.doshisha.ac.jp

共催: 科学研究費基盤C「創造の業」の系譜—ユダヤ教における「自由」と「偶像」の総合的研究

(研究代表者: 勝又悦子、研究課題番号20K00083)

科学研究費基盤C「ヨーロッパ中世における博物学的知識の伝承—中東及び古代・近世との関わり」

(研究代表者: 大沼由布、研究課題番号17K02522)